

(伊)デロンギ社製 暖炉型電気ファンヒーター



# 取扱説明書

型式番号

# SFA2040J

●調光機能付 ●疑似煙突、疑似木片、疑似石炭付 ●1400W

この度は、デロンギ 暖炉型電気ファンヒーターをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。お求めの製品を正しく安全に使用していただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。また、お読みの後は、保証書と共に大切に保管してください。

家庭用



Made in China

## もくじ

- ・安全上のご注意 ..... 1～3
- ・各部の名称とはたらき ..... 4
- ・設置について ..... 5～6
- ・操作手順 ..... 7
- ・電球の交換について ..... 8
- ・お手入れについて ..... 8
- ・故障かな? ..... 9
- ・知っておいていただきたいこと ..... 10
- ・真心点検について ..... 10
- ・仕様 ..... 10
- ・アフターサービス ..... 裏表紙

# 安全上のご注意

各注意事項を、必ずお守りください。

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の三つに分け、明示しています。

## ⚠️ 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。

## ⚠️ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

## ⚠️ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

4. 各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示が付いています。



：発火注意



：感電注意



：高温注意



：禁止行為



：分解禁止



：強制／指示



：電源プラグをコンセントから抜く

## 電源について

### ⚠️ 警告

- 電源は、家庭用交流 100V / 50/60Hz をご使用ください。
- 電源は、「15A 125V」と記されている壁面のコンセントから直接お取りください。

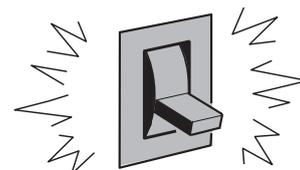
15A 125V



### ⚠️ 注意

- ヒーターを運転中にブレーカー（分電盤内の回路遮断器）が落ちる場合には、お近くの電力会社にご相談ください。

※ 詳しくは、「知っておいていただきたいこと」(10 ページ)を参照してください。



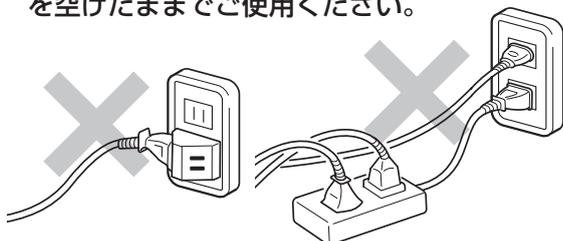
## コンセントについて ⚠️ 警告

- 延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは、絶対に使用しないでください。

コンセントや電源プラグ／電源コードが異常発熱し、発火する恐れがあります。

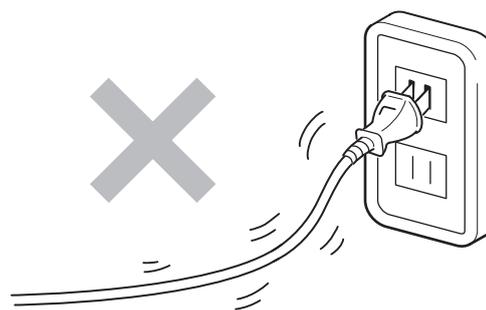


- コンセントは本製品だけ（単独）で使用し、差込み口が2つある場合は片方の差込み口を空けたままでご使用ください。



- 取付けの悪い（ガタツキのある）コンセントや差込み口（刃受）のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。

感電や発熱の恐れがあります。



## 電源プラグ／電源コードについて ⚠警告

- 異常発熱している電源プラグ／電源コードは絶対に使用しないでください。ヒーターの運転中に、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電力切替スイッチで電源を切り（＝運転中止）、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）に、電源プラグ／電源コードの交換を依頼してください。

ショートや発火する恐れがあります。



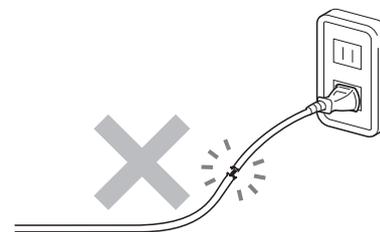
- 電源プラグ／電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、傷を付けないでください。

感電やショート、発火などの原因になります。

- 傷付いたり、変形・破損している電源プラグ／電源コードは、絶対に使用しないでください。

感電やショート、発火する恐れがあります。

必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンターに、交換を依頼してください。



- ヒーターの運転中は、電源コードが本体に触れないようにしてください。

熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因になります。

## 電源プラグ／電源コードについて ⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。



- 電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。

不完全な接続は、感電や発熱の恐れがあります。

- 濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。

感電する恐れがあります。



- 運転の際、電源コードが余っても束ねないでください。

熱の逃げ場がなくなって高温になり、発火する恐れがあります。

## 設置場所について ⚠警告

- テーブルや机の下でのご使用は、お止めください。

火災やヤケド、故障などの原因になります。また、ヒーターの熱で電源コード／電源プラグやコンセントが変形・変質し、出火する恐れがあります。



- 電源をとるコンセントのすぐ下でのご使用は、お止めください。

電源コード／電源プラグが変形・変質し、故障などの原因となります。

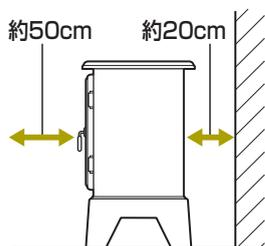
- 屋外や水／湿気の多い場所（部屋）でのご使用は、お止めください。

ショートや感電の恐れがあります。



## 設置場所について ⚠注意

- 壁ヒーター背面と壁の間は、20cm以上離してお使いください。また、ヒーター送風孔（前面）と家具や壁、カーテンの間は50cm以上離すようにして、温風が直接当たらないようにしてください。



- 毛足の長い絨毯や凸凹のある床は避け、平らな床に置いてください。

ヒーターが倒れるとケガや事故の恐れがあります。



## 使用する際の注意 ⚠️ 警告

- 逆さまや横倒し、立てかけてのご使用は、絶対にお止めください。

火災や故障などの恐れがあり、危険です。



- 本製品を分解したり、改造することは、絶対にお止めください。

故障や発火の恐れがあります。



- 猫や犬など、ペットの暖房に使用しないでください。

ペットが本体や電源プラグ／電源コードなどを傷め、発火や故障の原因になります。



- 本体の近くにスプレー缶を放置しないでください。

熱でスプレー缶の圧が上がり、爆発し危険です。



- 本体を覆うように布団や毛布などをかけたり、濡れたもの（洗濯物など）の乾燥に利用しないでください。

過熱により、火災や故障などの恐れがあります。



- 長期間使用しない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

誤って、電源が入る恐れがあります。



- 定期的に、電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミを掃除機などで取り除いてください。

付着しているホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。



- ヒーターの移動は、必ず本体が冷えてから行なってください。

床面が傷付く場合がありますので、ヒーターは両手で持って移動してください。



## 運転中の注意 ⚠️ 警告

- 万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り（＝運転停止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。

異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までご連絡ください。



- 本体や操作部（電力切替えスイッチ、疑似炎調光ツマミ、サーモスタット）に、水やジュース（液体）などをこぼさないでください。

万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、運転を停止します。その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までご連絡ください。



## 運転中の注意 ⚠️ 注意

- 運転中および停止直後は、送風孔に触れないでください。

温風（II：強）は、送風孔近くで約 85℃ になりますので、ヤケドをする恐れがあります。



- 小さなお子様が近くにいるときは、必ず付き添ってください。

運転中および運転していないときもお子様はヒーターのそばにいるときは大人の方が付き添ってください。



- 電球の交換は、必ず電力切替えスイッチで電源を切り、コンセントより電源プラグを抜いてから行なってください。また、使用後しばらくは電球が熱くなっています。十分に冷ましてから交換を行なってください。



## お手入れについて ⚠️ 警告

- 必ず電源プラグをコンセントから抜き、ヒーターが冷えてから行なってください。



- 絶対に、水に浸したり、水洗いをしないでください。



## お手入れについて ⚠️ 注意

- ヒーターと壁や床のすき間、電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除いてください。

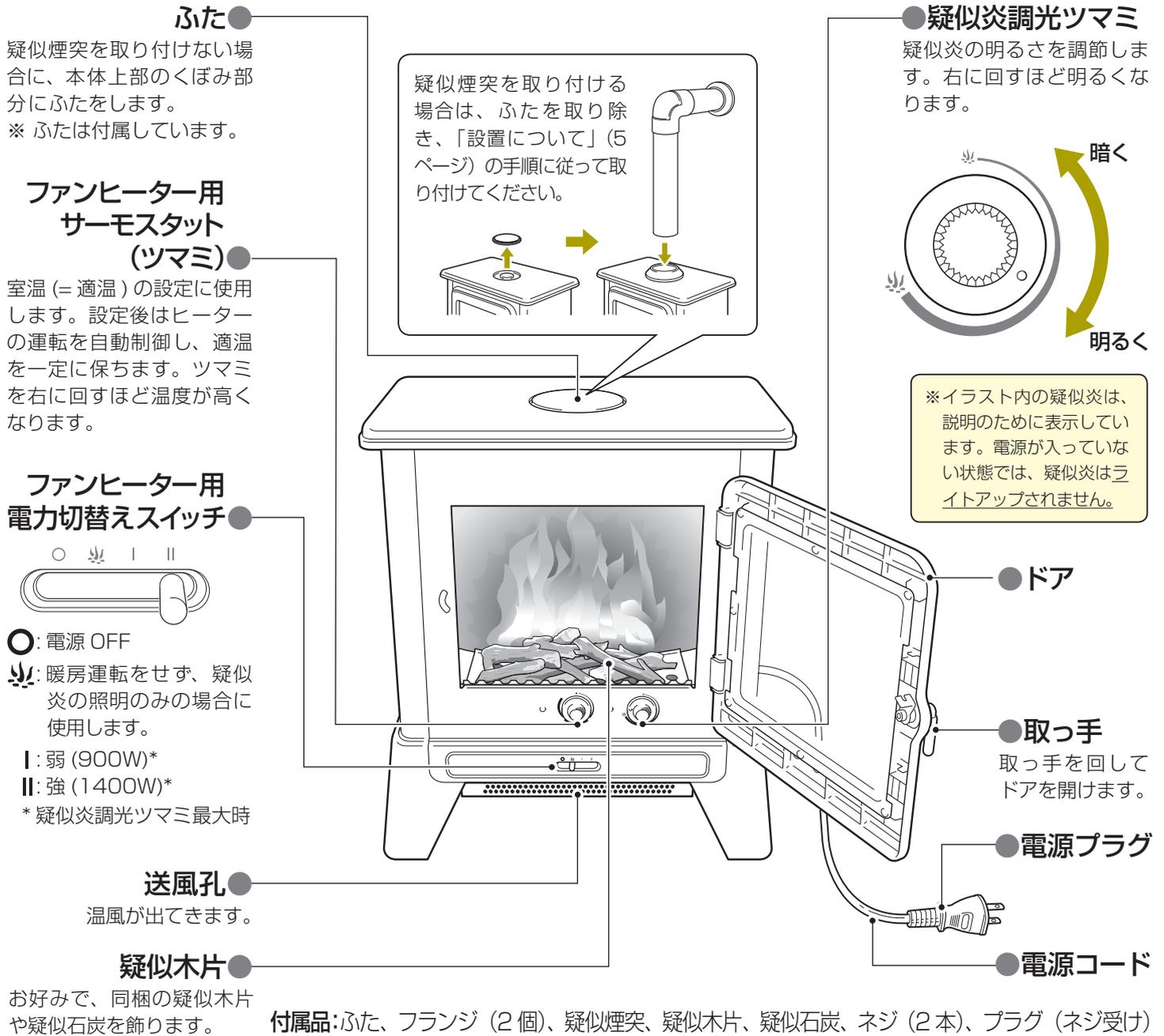
ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。



- 洗剤やクレンザー、シンナー、金たわしなどは、使用しないでください。



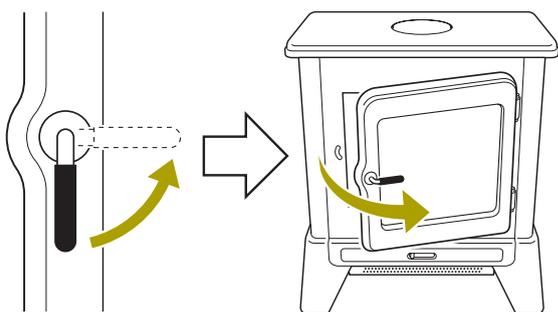
# 各部の名称とはたらき



**注意**

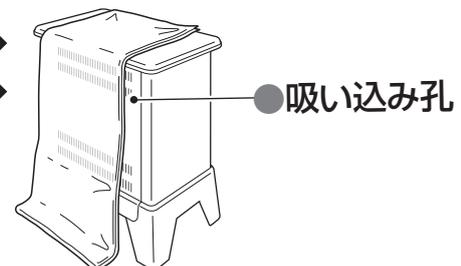
本体質量が重いので、床の素材によっては脚のあとが付く場合があります。木片やゴムシートを脚の下に設置することをおすすめします。

ドアは取っ手を回してから開けてください。



**注意**

本体背面の吸い込み孔を、カーテンや布などで覆わないでください。



# 設置について

設置の前に、以下の付属品が同梱されているか確認してください。

## 付属品



※設置作業は二人以上で行うことをおすすめします。  
※プラスドライバーをご用意ください(ネジが効かない壁材の場合は、径6mmのドリルをご用意ください)。

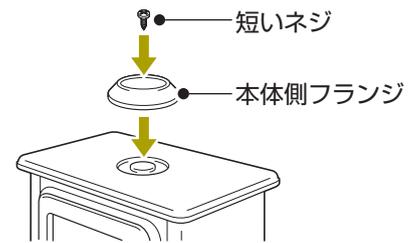
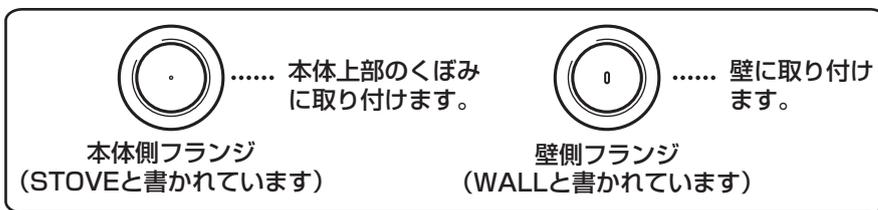
## 1 設置場所を決める

壁に、ポスターやカレンダー、絵などが貼られていない場所に設置してください。



延長コードは使用できませんので、電源コードが届く位置に設置してください。

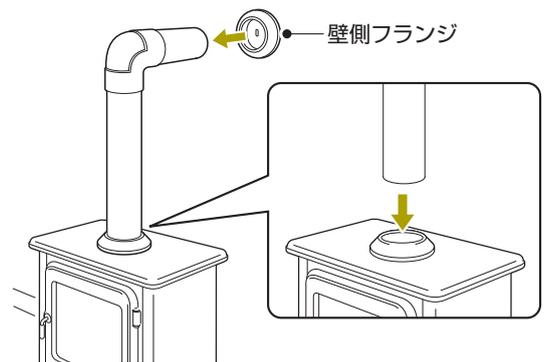
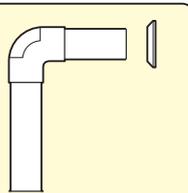
## 2 付属の短いネジで、本体側フランジを本体上部のくぼみに取り付ける



## 3 疑似煙突に壁側フランジを取り付け、本体側フランジにはめ込む



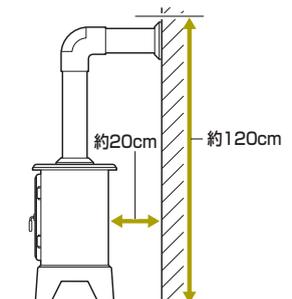
疑似煙突の短い方に、壁側フランジを取り付けてください。



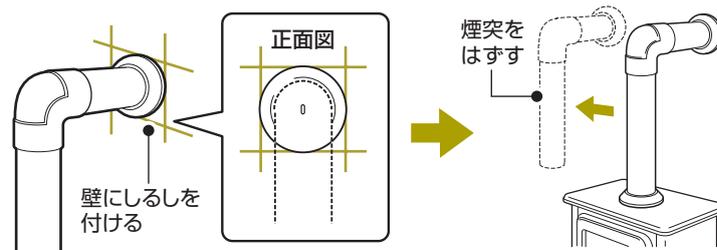
## 4 疑似煙突にゆがみが出ないように、本体と壁の距離を調節する



・本体と壁の距離を調節する際、本体を引きずらないようにしてください。  
・疑似煙突に物を掛けたり、小さなお子様がぶら下がって遊ばないようにしてください。

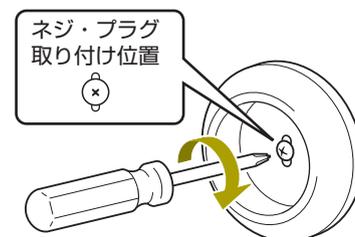


## 5 壁側フランジの取り付け位置がずれないように、えんぴつなどで壁にしるしを付け、疑似煙突を一旦はずす



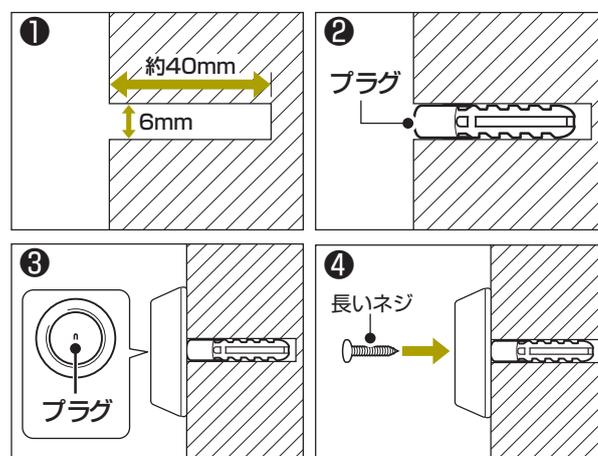
## 6 壁側フランジを手順5で付けたしるしに合わせて、付属の長いネジで壁に取り付ける

※ ネジが効かない壁材の場合は、付属のプラグをご使用ください。



### 付属のプラグを使った取り付け方

- ① 壁側フランジを手順5で付けたしるしに合わせて、プラグを取り付ける位置にしるしを付ける。その後、付けたしるしの位置に径6mmのドリルで深さ約40mmの穴を開ける。
- ② 開けた穴に、金づちなどで付属のプラグを打ち込む。
- ③ 壁側フランジのネジ穴を、打ち込んだプラグに合わせる。
- ④ 付属の長いネジをプラグにねじ込み、壁側フランジを取り付ける。



注意

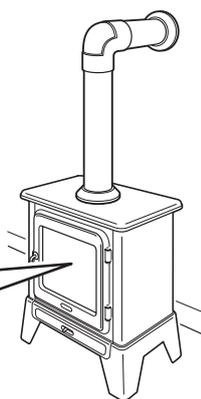
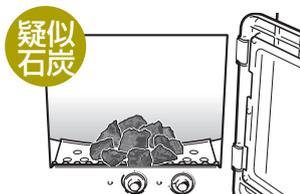
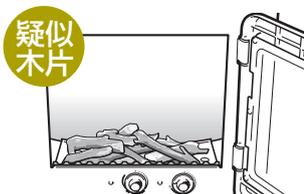
石膏ボードなどを使用している厚さ40mm以下の壁には、付属のプラグを使用しないでください。お近くのホームセンターで石膏ボード用アンカーなどをお求めになり、壁側フランジの取り付けを行ってください。



石膏ボード用アンカー例

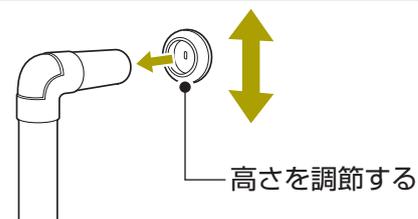
## 7 壁側フランジに合わせて、疑似煙突を取り付ける

お好みで、付属の疑似木片や疑似石炭を飾り付けます。



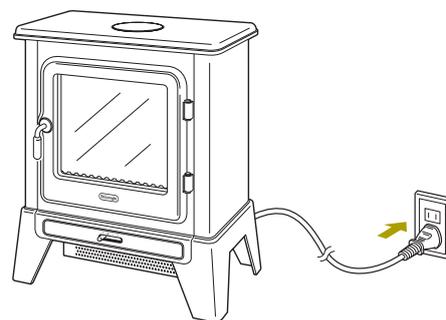
### ヒント

壁側フランジの位置が合わなかった場合は、一旦疑似煙突をはずし、壁側フランジを上下に動かして高さを調節してください。

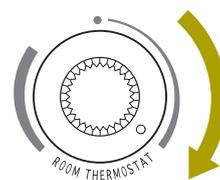


# 操作手順

- 1** 電源プラグをコンセントに差し込む。  
電源プラグを壁面のコンセントに直接差し込みます。  
根元までしっかりと入れてください。また、電源コードは伸ばした状態でご使用ください。
- ⊗ 延長コードは絶対に使用しないでください。

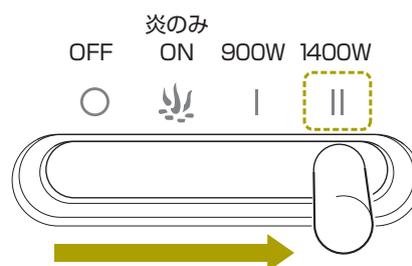


- 2** サーモスタットを最大にセットする。  
サーモスタットのつまみを右いっぱいにするまで回し、出力レベルを最大にセットします。

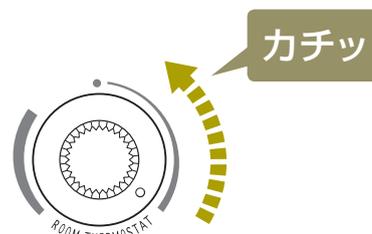


サーモスタット

- 3** 暖房運転を開始する(電源を入れる)。  
電力切替えスイッチを II の位置にします。  
送風孔から温風が出てきます。



- 4** サーモスタットを設定する。  
お好みの温度(適温)になったら、サーモスタットをゆっくりと左方向(反時計回り)に回し、カチッと音がしたところで止めます。

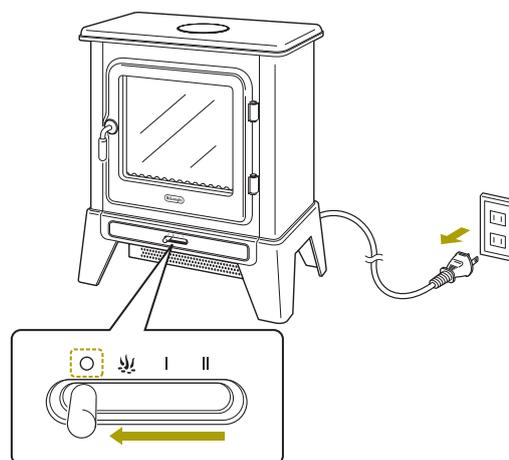


これで適温が設定され、温風が停止します。後は自動的に入/切を繰り返しながら適温を保ちます。

▶ 適温を上げるときは、右(時計回り)に回し、下げるときは左(反時計回り)に回します。

- 5** 暖房運転を停止する(電源を切る)。  
電力切替えスイッチを○の位置に戻して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

⚠ 高温注意：送風孔は、停止後もしばらくは熱いので、触れないでください。



# 電球の交換について

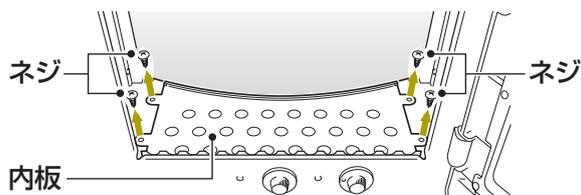
電球が切れたら、次の手順に従って交換してください。※プラスドライバーをご用意ください。



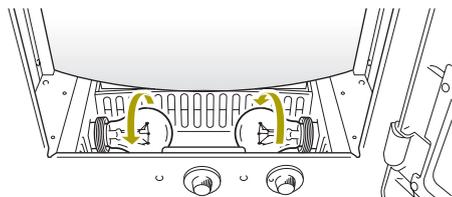
注意

- ・必ず電力切替えスイッチで電源を切り、コンセントより電源プラグを抜いてから交換を行なってください。
- ・使用ししばらくは電球が熱くなっています。十分に冷ましてから交換を行なってください。
- ・E26口金、100V、40Wの白熱電球以外使用しないでください。(電球は、一般電気店でお求めいただけます。)

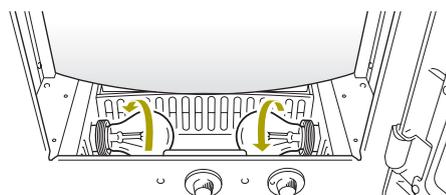
**1** ネジ(4箇所)をはずして内板を取りはずす。



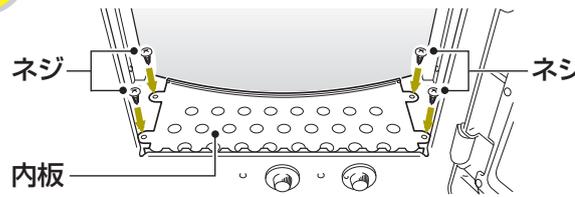
**2** 電球を取りはずす。



**3** 新しい電球を取り付ける。



**4** ネジで内板を取り付ける。



# お手入れについて



お手入れをする場合には、必ず事前に電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行ってください。



水洗いできません。また、洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しないでください。

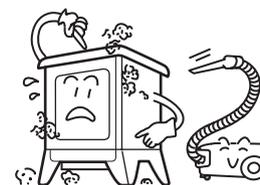
お手入れは、定期的に行なってください。



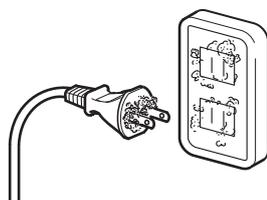
- 本体、疑似煙突は乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。



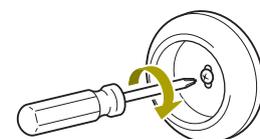
- 本体および壁と床とのすき間に溜まっているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。



- 壁面コンセント(刃受)および電源プラグ(栓刃)に付着しているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。



- 疑似煙突を固定しているネジにゆるみがないかを確認し、ゆるんでいる場合は、ドライバーでしっかりと締めてください。



# 故障かな？ 修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。

使用中に異常が生じた場合は、直ちに電力切替えスイッチを○の位置に戻して電源を切り（＝運転を停止し）、以下の点をお調べください。なお、修理のご依頼は裏表紙「アフターサービス」を参照してください。

症状(状態)	予想される原因	対処のしかた
電力切替えスイッチを入れても電源が入らない	電源プラグが、コンセントに差し込まれていない	電源プラグ(栓刃)を、根元までしっかりとコンセントに差し込みます。
使用中、電源プラグ/電源コードが異常に熱くなる (目安: II(強)運転時で約40℃)	延長コードを使ったり、タコ足配線をしている	延長コードやタコ足配線を止め、電源プラグを定格15Aの壁面コンセントに直接差し込みます。
	電源プラグ(栓刃)を、根元までコンセントに差し込んでいない	電源プラグ(栓刃)を、根元までしっかりと差し込みます。不完全な接続は、感電や発熱の恐れがあります。
	差込み口(刃受)が2つあるコンセントで、両方の差込み口を使用している	差込み口(刃受)が2つある壁面コンセントを使用する際は、必ず、片方の差込み口を空けてください。
	コンセントがガタついたり、差込み口(刃受)がゆるい	近くの電気店に、コンセントの修理を依頼してください。コンセントが老朽化している場合があります。
	電源プラグ/電源コードが傷付いたり、変形・破損している	お求めの販売店または弊社サービスセンター(裏表紙参照)に、修理・交換を依頼してください。
	電源コードの上に物を置いたり、無理に曲げている	電気の流れる道が半断状態になると、ショートや発火の恐れがあるので、絶対に止めてください。
	電源コードを解いていない。束ねた状態で使用している	余ったコードも、必ず伸ばした状態で使用してください。束ねると、熱の逃げ場を失って高温になり、発火の恐れがあります。
	電源プラグやコンセントに、ゴミやホコリが付着している	定期的に、付着しているゴミやホコリを取り除いてください。
部屋が暖まらない ※暖房する部屋の諸条件(断熱材や位置、部屋の広さなど)によって異なります	電力切替えスイッチが I(弱)の位置にある	電力切替えスイッチを II(強)の位置にし、電力レベルを最大にしてください。
使用中、温風が出てこない	サーモスタットの出力レベルが低い	サーモスタットのツマミを右(時計回り)に止るまで回し、出力レベルを最大にしてください。
	本体背面がカーテンや布などで覆われている	本体背面をカーテンや布などで覆わないでください。背面を覆うと内部温度センサーの周辺温度が上昇し、安全装置により運転が停止します。電力切替えスイッチを○の位置に戻して電源を切り、本体を冷ましてください。その後、通常の使用手順に従って暖房運転を再開してください。

# 知っておいていただきたいこと

## 定格電流について

本製品の定格電流は、14A（アンペア）です。ご家庭内で使用中の他の電気器具（複数）の定格電流との合計値が、**契約電力**（電気料金の請求書「基本契約欄」に00Aと記載）を**超えていない**

かどうか確認してください。なお、定格電流の算出方法は、以下の通りです。

$$\text{定格電流 (A)} = \frac{\text{消費電力 (W)}}{100(\text{V: 電圧})}$$

## ブレーカーについて

ブレーカー（分電盤内にある回路遮断器）は、その回路で電気を使い過ぎた時や何らかの原因で瞬時に大電流が流れた場合に自動的に電気を断ち、回路を守ります。**契約電力が不足している**

場合や、足りていても、その回路の容量を超えて複数の電気器具を使用すれば、**ブレーカーが働き（＝落ち）**ます。  
※契約電力が不足している場合には、電力会社に増量を依頼してください。

## 電気代(目安)について

1時間当りの電気代（目安）は、暖房する部屋の諸条件（広さ、断熱および密閉性能など）により異なりますが、おおよそ右記の通りです。（1kW/h = 22円として算出した場合）

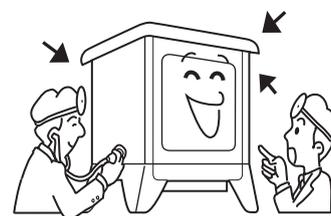
電力レベル：Ⅱ(強) 1400W	部屋が適温に達した後 サーモスタットで自動制御 (ヒーター稼働率：60%の場合)
約31円/時間	約18円/時間

# 真心点検について



**長年ご使用のヒーターは、点検をお勧めします。**

保証期間（3年）が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（お預かり）をお勧めします。点検の依頼および料金等につきましては、弊社サービスセンター（裏表紙参照）までお問い合わせください。



# 仕様

製品名称	デロンギ 暖炉型電気ファンヒーター	
型式番号	SFA2040J	
適用畳数	3～9畳	
定格	電圧／周波数	交流 100V／50/60Hz
	消費電力	弱：900W 強：1400W（調光用白熱ランプ40W×2含む）
外形寸法／質量（※）	幅 51.0 × 奥行 35.0 × 高さ 56.5cm / 14.0Kg	
安全装置	転倒時自動電源遮断装置・復帰型安全ヒューズ	
電源コードの長さ	1.9m	
付属品	ふた、フランジ（2個）、疑似煙突、疑似木片、疑似石炭、ネジ（2本）、プラグ（ネジ受け）	

※外形寸法および質量は、付属品を除いた数値です。

# アフターサービス

- 使用中に異常(★)が生じた場合は、直ちに電力切替えスイッチで電源を切り(=運転停止)、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、9ページ「故障かな?」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または弊社サービスセンター(下記参照)にご相談ください。

## 〈★以下のような場合には、点検および修理が必要です〉

- ・使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- ・電源コード、電源プラグが変形/破損している
- ・本体や操作部に、水やジュース(液体)などをこぼした
- ・本体に、強い衝撃を与えた
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

- 万一故障した場合は、保証書に記載されている販売店に①お求めの時期 ②製品名称と型式番号③故障の状況—を連絡のうえ、修理を依頼してください。  
※ 宅配便等を利用して弊社サービスセンター(下記参照)に直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを同封くださるようお願いいたします。
- 保証期間中(3年)は、保証書に記載されているものについては無償で修理いたします。ただし、使用上の注意を無視しての故障や規格外に改造したものなどは、その限りではありません。また、保証期間を過ぎたものについては、有償で修理いたします。
- デロンギ再資源化システムについて



ご不用になった製品は、下記の要領に従い、弊社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

**送料について:** 再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となります。予めご了承ください。

**梱包について:** 製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンター(下記参照)までお問い合わせください。

## デロンギ・ジャパン サービスセンター (受付時間▶土、日、祝日を除く毎日9:30~18:00)

### コールセンター

修理について Tel.0120-804-280

Tel.0120-692-885

お問い合わせ Tel.0120-064-300

Tel.0120-692-880

／ Fax.045-450-3291

- 横浜: 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内4号ビル
- 大阪: 〒564-0044 大阪府吹田市南金田2-21-25

ホームページでのお問い合わせ(URL) ————— <http://www.delonghi.co.jp>

De'Longhi Forum

イタリアのライフスタイル情報満載! デロンギフォーラム無料会員募集中!

詳しくは <http://www.delonghiforum.jp>



**デロンギ・ジャパン株式会社**

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル Tel. 03-5256-6321(代)